学校番号	107

令和８年度　情報科

教科	情報科	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「情報Ⅰ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「情報Ⅰ」は、「パソコンの使い方を学ぶ科目」ではありません。Society5.0と呼ばれる、超情報科未来社会を生き抜いていくために求められる力を身につけていく科目です。この科目の目標は、主に以下の３点です。

（1）コミュニケーションの目的に応じたメディアを選択し、伝達する力の習得
（2）情報や情報技術を活用して、粘り強く問題解決に努めていく力の習得
（3）情報社会を生きる構成員としての自覚と情報モラル意識の習得

単元ごとにプレゼンテーションやレポート等のパフォーマンス課題に取り組んでもらいます。課題に取り組んだ後は、積極的に自らの学習活動について振り返り、改善していきましょう。また、他の人の学習活動についても助言を行ってください。夕陽丘高校の生徒のみなさんには、この授業を通じて、情報活用能力をお互いに高め合える集団になってほしいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	● コンピュータやデータの活用について科学的な理解を深め、効果的なコミュニケーションを実現する技能を身に着けている。 ● 情報や情報技術が人や社会に果たしている役割・必要性について理解している。	● さまざまな事象を、情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。 ● 効果的なコミュニケーションを行うため、目的や状況に応じた情報を収集・選択・判断することができる。	● 情報社会における問題の発見と解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。 ● 自身の作成したコンテンツや学習活動について、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	A: 情報社会の問題解決	(1)メディアとコミュニケーション	a: メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について,その変遷も踏まえて科学的に理解している。 b: メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え，それらを目的や状況に応じて適切に選択できている。 c: コミュニケーションの目的を明確にして、 効果的なコミュニケーションを行うための考え方や方法について評価し改善しようとしている。	定期考査	定期考査 プレゼンテーション	授業プリント グループワーク
		(2)情報社会における個人の責任	a: 情報に関する法規や制度,情報セキュリティの重要性，情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 b: 情報に関する法規や制度及びマナーの意義,情報社会において個人の果たす役 割や責任,情報モラルなどについて,それらの背景を科学的に捉え，考察している。 c.自らの情報モラル・言動について振り返り、改善しようとしている。			

		(3)問題解決の手法 (4)表現の工夫	a：情報やメディアの特性を踏まえ,情報と情報技術を活用して問題を発見・解決 する方法を身に付けている。 b: 目的や状況に応じて，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 c:情報と情報技術の発達が人や社会に与える影響について考察しようとしている。 a: 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し、表現する技能を身につけている。 b: コミュニケーションの目的を明確にして,適切かつ効果的な情報デザインを考えている。 c:情報デザインの考え方や方法に基づいて表現した自身のコンテンツについて評価し、改善しようとしている。	定期考査	スライドプレゼンテーション 定期考査	授業プリント 相互評価 振り返り課題
	B:コミュニケーションと情報デザイン	情報のデジタル化	a: コンピュータや外部装置の仕組みや特徴,コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解する。 b: コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している。 c:コンピュータの活用場面について考え、問題の発見や解決に役立てようとしている。	定期考査 小テスト	制作コンテンツ 定期考査	授業プリント

後期	C:コンピュータとプログラミング	(1)プログラミング (2)モデル化とシミュレーション	a: アルゴリズムを表現する手段, プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解し技能を身に付けている。 b: 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し, プログラミングによりコンピュータを活用できる。 c:プログラミングによりコンピュータを活用するとともに, その過程を評価し改善しようとしている。 a: 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法, シミュレーションを通して モデルを評価し改善する方法について理解する。 b: 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに, その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えている。 c:モデル化やシミュレーションの結果を踏まえ、解決策を改善しようとしている。	ソースコード 小テスト 定期考査	ソースコード レポート	授業プリント 相互評価 振り返り課題

	D: 情 報通信ネットワークとデータの活用	(1)データの収集と分析 (2)情報通信ネットワークの仕組み	a: データを表現，蓄積するための表し方と,データを収集，整理，分析する方法について理解し技能を身に付けている。 b: データの収集，整理，分析及び結果の表現の方法を適切に選択し，実行している。 c: データの収集，整理，分析及び結果の表現の方法について評価し､改善しようとしている。 a: 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素,プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 b: 目的や状況に応じて，情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに,情報セキュリティを確保する方法について考えている。 c:情報通信ネットワークを介 して情報システムが提供するサービスを活用する際の留意点について考えようとしている。	定 期 考査	発 表 資料 定 期 考査	授業プリント 相 互 評価 振り返り課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度